

議案第9号 令和3年度久喜市一般会計予算に対する修正案の提出について

上記の修正案を別紙のとおり、地方自治法第115条の3及び久喜市議会会議規則第17条の規定により提出します。

令和3年3月17日提出

発議者 久喜市議会議員

杉野 修

渡辺 昌代

石田 利春

平間 益美

久喜市議会議長 春山 千明 様

(別紙)

令和3年度久喜市一般会計予算に対する修正案

議案第9号 令和3年度久喜市一般会計予算を次のとおり修正する。
第1条第1項中「51,300,000千円」を「51,523,865千円」に修正する。
第1条第2項で定める「第1表歳入歳出予算」を次のとおり修正する。

歳入

単位:千円

款	項	原案の金額	修正案の金額
14 国庫支出金		8,260,976	8,162,378
	2 国庫補助金	914,661	816,063
18 繰入金		1,678,915	2,001,378
	2 基金繰入金	1,678,912	2,001,375
歳入合計		51,300,000	51,523,865

歳出

単位:千円

款	項	原案の金額	修正案の金額
2 総務費		5,175,014	5,073,801
	1 総務管理費	3,987,783	3,983,817
	3 戸籍住民基本台帳費	414,251	317,004
3 民生費		22,173,018	22,304,961
	1 社会福祉費	9,692,195	9,752,138
	2 児童福祉費	9,391,362	9,463,362
4 衛生費		4,184,625	4,299,225
	1 保健衛生費	1,376,185	1,470,785
	2 環境衛生費	157,424	177,424
7 商工費		252,474	292,474
	1 商工費	252,474	292,474
8 土木費		4,564,538	4,548,673
	4 都市計画費	3,314,618	3,298,753
10 教育費		7,183,269	7,237,669
	2 小学校費	752,233	789,633
	3 中学校費	832,121	849,121
歳出合計		51,300,000	51,523,865

提案理由

2020年1月からの新型コロナウイルス感染症の感染拡大は、消費税増税による暮らしへの打撃が深刻になる中で、市民生活全般への深刻な影響をもたらしています。国は、非常事態宣言を発出し、感染防止対策も行ってきましたが、コロナ禍由来で暮らしと生業に大きな影響を受けた個人・法人に対する支援は十分とは言えず、必要な方すべてに届いておりません。

コロナ対策は、「休業補償と検査拡大」が引き続き重要であり、今後の「ワクチン接種」と並行して進めることが必要です。久喜市としては、国や県に対して保健所機能強化をはじめ、地域医療体制の充実を、また、地方財政への財源確保を求めつつ、コロナ禍で苦しんでいるすべての市民に対して、いま市としてできる限りの独自努力を行うことです。

こうしたことを踏まえ、本年は、これまでの予算修正を総合的に見直し、「コロナ感染防止のための検査強化」を盛り込んだことも特徴です。コロナ感染の収束がまだ見通せない中、感染リスクの高い福祉現場への検査です。国や県の手が届かないところには、市が手を差し伸べることも必要です。暮らし応援、地域振興推進の一助になればとの思いです。

今後、久喜市民が、たとえわずかであっても、前を向いて希望を持てるよう、背中を押す修正予算として提案するものです。

予算修正案のポイントは次の項目です。

1. 国の同和対策特別事業は終結し、部落差別の歴史的要因だった生活環境等は大きく改善され、部落差別は基本的に解消しています。人権尊重と民主主義の憲法に基づいて、すべての住民に対する施策として公平平等に進めることが地方自治体の責任であると考え、同和対策として計上された予算を削除します。

総減額 ▲2,615 千円

2. 市民の暮らし応援にとって不必要な事業は中止し、市民のための予算に回します。プライバシー漏えいが危惧されるマイナンバー制度関連事業・マイキーID設定支援事業は停止します。

総減額 ▲98,598 千円

3. 国民健康保険税の徴収においては、社会保険で徴収されていない「均等割」による徴収が実施され、国民健康保険税の高額を招いています。「均等割」は、0歳にも適用され早期の是正を求めて来ました。来年度から国、県、市で、入学前の子どもを対象に1/2の助成制度がスタートします。この機会を捉え、久喜市独自でさきがけて支援を実施します。支援の内容は、「均等割」無料化の対象年齢を、0歳から18歳までとし、均等割は0円とします。

総額 59,943 千円

4. 子ども医療費18歳までの無料化は全国的にも進んでいます。子育て世代の負担を軽減し応援する事業として、久喜市も実施します。

総額 72,000 千円

5. 新型コロナウイルス感染抑止で日夜奮闘する医療期間の方々には、心からの感謝と敬意を表します。その思いを支援事業として実施するものです。これまで久喜市としても「新型コロナウイルス感染症対応医療機関支援事業」により235の施設を対象に実施して来ました。金額にして3,200万円の取り組みです。2021年1月には、緊急事態宣言が再び発令され医療機関の逼迫が続いていることから、再度の支援が求められており実施するものです。

「新型コロナウイルス感染症対応医療機関支援事業」と同様の支援を講じます。

総額 32,000 千円

6. 障がい者施設、介護施設の通所・短期入所施設の職員などを対象にPCRのスクリーニング検査を実施します。

積算は、1人約10,000円、(埼玉県と同額)。対象者は、障がい者施設151箇所、介護施設162箇所の職員。1施設当たり約10人として3,130人と試算。PCR検査は2回実施することとします。 3,130人 × 10,000円 × 2回

総額 62,600 千円

7. 地域新電力の創立に向け久喜市が出資するものです。

地球温暖化防止は、2030年がタイムリミットと科学者から指摘されており、早急な取り組みが求められています。地域新電力の創設は、自然再生エネルギーを活用し促進を促す事業となり、地産地消で地元経済への波及効果も大きいものがあります。剰余財源は、久喜市が主導できるよう1/2以上を出資することとし、市民サービスに活用できる財源となるよう取り組んでいきます。埼玉県内の先進事例を参考に、地元の商工会とも連携して早期に立ち上げ推進します。太陽光発電、ソーラーシェアリングの推進も視野に入れ取り組んでいきます。

総額 20,000 千円

8. 市民の住宅改修と店舗改修を推進し、震災に強い安心のまちづくりと地元経済の活性化を推進するため、住宅リフォーム助成制度、商店リニューアル助成制度を創設します。それぞれ200件、1件あたり10万円です。

総額 40,000 千円

9. スマートインターチェンジ設置に向けた取り組みは、次年度以降に繰延とします。新型コロナウイルス感染の終息にむけ、久喜市としても全力を尽くすときであり不要不急の事業は、繰り延べるべきと考え、2021年度予算からは削除するものです。

総減額 ▲15,865 千円

10. 小中学校体育館にエアコンの設置は喫緊の課題です。当面全ての小中学校の設置に向けた調査費用を計上します。1校170万円を見込み、32校分です。

総額 54,400 千円

以上が予算修正の内容です。

今回提出する「予算修正案」は、これまで代表質問や一般質問、委員会などで一貫して提起し続けてきた内容が基本となっています。

以上